

ひろし新聞 132号「震災」編

市議会議員（4期）

2011年3月28日発行

発行者 中川 浩 **44才**

震災対策 市・県は次の対策を！

東北地震ドキュメント 狭山市 このままでは、まずい！

東北地震発生直後から、選挙準備を自粛し、市役所にだけでなく、衆議院議員や東京電力・狭山警察署・県などとも連絡を取り、停電などの災害対策に、昼夜を問わず全力で取り組んでいます。

停電対策について、まだ電車が西武新宿～上石神井などまでしか通っていなかった頃、衆議院議員に「何よりも通勤時間帯の電車の電力を確保する事を国の方針にしてもらいたい。

電車を通さないと会社は仕事にならず、今後日本経済は更に悪化するので、他の電力を削ってでも確保すべき。特に狭山市民は都内に比べて電車が通らず不便。何とかして欲しい」とお願いしました。

中小企業などの方から、停電について「仕事にならず困り果てている。同じような状況が夏場まで続くと廃業に追い込まれる所も多々出て来る」との声を頂いており、国・地方上げて、電力確保・節電対策に取り組まなければなりません。

東京電力とは、以前市内が停電になった時、東京電力の電話がパンクした事から、電力会社と市がどう連携して、市民が不安にならないように情報を伝わりやすくするか支社長とも話し、今回の震災では、防災無線や市のメール配信・HPで情報を伝えるようになりましたが、ご承知の通り不十分です。今後、情報伝達の改良を行政に提案します。

停電した信号交差点の安全対策について、地震の翌日の土日にも市長と話し、市と警察署の連携が取れていなかったので警察署と話し、小学生の登下校時間をはじめ、交差点の安全対策を地域のボランティアの方と活動しています。

地震が発生したのは3月11日(金)午後3時前。何と市役所は午後5時に警戒を解除し、防災課に話をしに行ったら7時には誰もいませんでした。市の防災計画では、都内からの帰宅困難者対策については小平市と協定を結んでいて、小平市で狭山市民を受け入れて頂ける事になっていましたが、肝心の狭山市が動かず、機能しませんでした。私は次の震災を意識し、現在市と県消防防災課長に、帰宅困難者対策の対応を求めています（今回は都内が震源地でなかったので、都内の被害がそれ程大きくありませんでしたが、仮にそうなった場合、今回とは別次元の状態になり、その時に『想定外』では済みません。県の話では「埼玉県としては、震災時、都内にいる方には都内にとどまって頂きたいと思っているが、都としては、帰って頂きたい方針」との事。形ばかりでない連携が必要です）。<⇒中ページにつづく>

計画停電の新グループ 狭山市は「1-C」「2-B」

市民から市役所へ問い合わせは、土日でもあるので職員の配置を依頼し、夜間市役所に警備員さんしかいない時にも、基本的な質問には答えられるように、市に対応を求めました。

防災課だけでは職員が（電話の対応だけでも）足らず、他の課の職員はいつも通りの仕事をしていたので、他の課からの応援を依頼。市役所の電話交換台や交換士も足らず、電話が中々つながらないので、今回の震災だけでなく今後の事も考え増設するように求めています。

被災者の受け入れについて、福島県出身の市民の方からも相談があり、市と協議。市は当初、受け入れ先を公共施設（老人福祉センター）へと考えていましたが、それでは避難所と同じで落ち着いた生活が出来ないので、（市営のホテル）智光山荘などでの対応を提案し、市は100世帯の受け入れを決定。25日現在88世帯373人の方をお招きしています。原発の不安の中、今後も更なる受け入れが出来るよう県とも話していきます。

計画停電が夏にも実施される方針で、気がかりなのは、高齢者などが熱中症により死亡するのをどう防ぐかです。防災対策について、これまで議会で質問し、地域の皆さんの力によって、お陰様で（自治会単位の）自主防災組織の市内組織率は現在71%（88自治会）になり、来年度は市の事業として、災害が起きた場合手助けが必要な方（高齢・障害者）への対応（意向調査・実態把握）を、市と自治会（一部）と協力してやっていく事になりました。防災対策というと「狭山は安全だから」と言われる方がいらっしゃいますが、実はただ防災の事をやっているだけでなく、「年をとっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていける」為に、災害時要援護者への支援を進めていきます。

防災対策では“課題”がいつまでも課題のままの事が多々あります。今回の震災も、時がたった時、世の中がまた違う話題で持ちきりになり、忘れてしまったり、大事に思われなくなったり、「難しい」で片付けられないように改善していかなければなりません。

今回の地震の揺れは驚かれたと思いますが、たて揺れはもっと怖いです。私は中越沖地震の被災地 柏崎にいて、たて揺れの余震を経験しましたが、今回の揺れより小さくても、たて揺れは肝を冷やされます。落ち着いて行動しましょう。

災害現場にいて、いつも感じるのは、地域の方が互いに声をかけ合っている姿です。今回の地震では、市内での支援活動（募金・物資・移住）をバックアップしています。

震災対策のみならず、みんなであたたかい狭山市にしていきたいと思います♡

※ 「防災無線が聞こえない」という声を聞きます。市の携帯版HPからメール配信サービスを申し込めば、防災無線と同じ情報が放送と同時にメールで送られてきます。

<http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/>



市携帯版 HP

募金などへのご協力ありがとうございます

朝・夜、市内各駅で行っている東日本大震災義援金募金。28日現在 34万6953円 送金させて頂いております（狭山市赤十字奉仕団全体としては138万2960円）。引き続き皆様と共に支援していきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。

震災による不況・財政難を乗り越える改革を！

名古屋市長 河村さんと共に改革！

東北地震 今後の経済・財政悪化対策

県議会に挑戦!! 中川ひろし

雇用・経済政策などは県の仕事。狭山のために県に行きます！

狭山市の財政はこれまで、ホンダを始めとする工業団地からの
税収に支えられており、それが無ければ、今後少子高齢化する中、
福祉などの予算を確保出来ず、市民の負担が増えてしまいます。更
に今回の地震で今後の経済・財政悪化は深刻です。今、狭山市の急
務である雇用・工業政策などは、県の仕事で、私は県議会議員選挙
《4月 1日(金)告示、10日(日)投票》に挑戦します。

公約

◆工業政策として産業道路の整備は欠かせません。

“有料橋”（県道 狭山環状道路）の無料化

“東京狭山線”の1日も早い開通

（堀兼で行き止まりになっている所沢への道）

ホンダの新しい工場がつくられている寄居・小川町は、工場のすぐ近くには関越道があり、
目の前をバイパス道路が通っており、道はすいています。一方狭山市は、橋や16号などが
渋滞しており、企業が市内で存続していけるバイパス道路の整備が必要です。有料橋無料化
について私は市議会でも質問するだけでなく、県の道路公社の理事長に会い、協議しています。

◆防災対策を県として強化（市町村では限界があります）東京消防庁のハイパーレスキュー
に代表されるように、防災対策は県と市町村の共同が必要です。阪神淡路・中越・中越

沖地震、名古屋水害での災害ボランティア経験を活かして、取り組みます。

◆国民健康保険の増税に反対

今後、国民健康保険の決定権が市から県に変わる予定です。

仲川市長は市議会でも、国民健康保険税の増税について「税率改定は避けられない」と答弁。
18人の議員が（増税の財政計画を見込んだ）来年度予算に賛成しました（反対は私含め5
人）（1人は予算議会前に議員辞職）。税金のムダを徹底的に無くせば財源の確保は可能です。

◆福祉 特別養護老人ホームなど施設整備を県で進めます。施設が足りません。

施設整備基準は県が決めており、東京都では基準を改めて、整備しやすくしています。

◆入曽駅前整備と周辺の県道に歩道整備

◆快速急行の増便 狭山市は他市より人口が減っており、若い人が住み続けられる市にしなければ。

◆**改革!** 県議会 議員数と報酬の削減 これまで市議会議員の削減に取り組んで来ました。

県議会民主党会派で、議員数と報酬の削減を会派としての共通公約にする事を提案し、了承されました。

◆“事業仕分け”を県で実施 ムダづかい改革を強化しなければ増税に。公務員改革を!

◆相談業務の強化 市役所の相談窓口は平日昼間だけなので「平日昼間働いている市民」は相談出来ません(市議会で質問し、来年度一部実施される事に)。過去3年間平均35人の狭山市民が自殺で亡くなっている現実があります。

県と市が連携して、親身になった相談体制を築かなければなりません。

◆教育 学校の休みを短縮し、授業実施(学力・体力向上の具体策)

子供達は、今の大人世代より、厳しい国際競争の中を生きていかなければなりません。

(学校の先生が県職員であるように)教育は県で行われており、具体策が不可欠です。

◆市民の声を、国会にも届け、狭山市政を改革します!

この国の政治には“閉そく感”が強くあります。それを打破しなければ市民生活は守れません。市民の年収の約4割(39%)は税金と健康保険・年金で使われています。増税よりも、まず改革だと私は思います。狭山市政については市議候補と連携し、市を活性化します。

■ひろし新聞を132回発行 これからも狭山市の事など市民が気になる情報をより多くの皆さんに配ります。

期日前投票 -----投票日に投票に行けそうにない場合は、期日前投票を。-----

◆市役所1階ロビー 4月2日(土)~9日(土) 朝8時半~夜8時(土・日も)

◆市民会館1階一般休憩室 4月5日(火)~9日(土) 朝9時30分~夜7時

投票用紙が届いていない・持っていないなくても投票できますが、出来ましたらご持参下さい。

ご意見・ご相談などは↓こちらへ

市議会議員 **中川ひろし**

電話 090-3310-9234 FAX 2958-8643

kids-dream@docomo.ne.jp hncgw@nifty.com

ひろしホームページ <http://hnsayama.life.coocon.jp/index.html>



ひろし HP

〒350-1306 狭山市富士見1-3-6 クレアメゾン601

後援会資料

東北地震により資源節約のため選挙カーを**使いません**。選挙期間中も震災対策に取り組ませて頂きます。ご理解・ご協力をお願い致します。